

神戸アートビレッジセンター(KAVC)手話裁判劇『テロ』 舞台資料

本公演は、日本語と手話の表現を用いた公演となり、日本語字幕付きで上演します。
一人の役を発声の俳優、手話の俳優がそれぞれ同時に演じる、二人一役の形となります。
ろう者、聴者、視覚障がい者が同じ舞台にたち、発語と手話を交えた演劇作品です。

【あらすじ】

ドイツ上空で旅客機がハイジャックされた。テロリストがサッカースタジアムに旅客機を墜落させ、7万人の観客を殺害しようと目論んだのだ。しかし、緊急発進した空軍少佐が独断で旅客機を撃墜する。
乗客164人を殺して観客7万人を救った彼は、英雄か？犯罪者か。

【出演者・容姿・配役について】

裁判長役

【手話】 山口文子（やまぐち・ふみこ）

白のシャツに、黒のズボン。公平を象徴する「法服(黒いローブ)」を羽織っている。髪は肩より短い。

【音声日本語(発声)】 田川徳子（たがわ・のりこ）

もう一人の裁判長役と同じく法服姿。ローブは膝丈ほどで、袖は長く広い。黒いシャツ、眼鏡をかけている。

被告人（ラース・コッホ）役

【手話】 藤田沙矢夏（ふじた・さやか）

薄い茶(カーキ)色のシャツに、こげ茶色のズボン。ボタンを1番上まで閉め、全体的にきっちりした印象。

【音声日本語(発声)】 石原菜々子（いしはら・ななこ）

もう一人の被告人役と同じスタイルに、紺色の衿なしシャツ。

中性的で、礼儀正しい仕草がみられる。黒いブーツを履いている。

弁護士（ビーグラー弁護士）役

【手話】 北蘭知輝（きたぞの・かずき）

ワイン色のシャツに、茶色いスーツを着た男性。胸元のボタンは空いており、襟元から金のネックレス、袖からは金時計がキラリとのぞく。スーツの左胸ポケットには弁護士であることを示すバッチが光る。

【音声日本語(発声)】 木下健（きのした・けん）

もう一人の弁護士役と同様、胸元を広く開けて、グレーのシャツを着崩している。

動作が堂々としていて大きい。金色のアクセサリやバッチはそのまま、髪はさっぱりと短い。

検察官（ネルゾン女史）役

【手話】 森川環（もりかわ・たまき）

清潔感のある白いパンツと白いブラウス、ネイビーのジャケット。右胸ポケットには水色のハンカチーフと、検察官を示すバッチが光る。踵の高いパンプスを履き、細身で女性的。

【音声日本語(発声)】 宮川サキ（みやがわ・さき）

ネイビーのブラウスに、黒のジャケットとワイドパンツ。もう一人の検察官より幾分背が高い。

髪は茶色く、肩までのウェーブ。ジャケットの右胸ポケットには同じハンカチーフとバッチが見られる。

証人（クリスティアン・ラウターバツハ）役

【手話】 庄崎隆志（しょうざき・たかし）

中年の男性。眼鏡をかけている。薄い緑(オリーブ)色のシャツに、深い緑色のズボンを履いている。

腰元はインスタイル+太めのベルト。落ち着いた風貌で、貫禄がある。

【音声日本語（発声）】 古賀麗良（こが・れいら）

若い女性。細身で背が高い。黒いシャツと紺色のパンツを、もう一人の証人役と同じようにシャツイン+ベルトでコンパクトに着こなしている。

フランツィスカ・マイザー役

【音声日本語（発声）】 関場理生（せきば・りお）

物腰の柔らかそうな女性。落ち着いた黄色いワンピースが、膝下ほどの丈で上品に揺れる。

首元にはふんわりとオレンジ色のスカーフを巻いている。（※時折、【手話】を木下健が兼役する。）

【舞台について】

舞台床面の高さは 90 センチメートル、広さは横が約 11 メートル、奥行きが約 8 メートルの横長の長方形です。俳優達は左右の奥側から舞台に出入りします。その出入り通路と客席側正面以外、舞台は腰の高さぐらいの木の柵で囲まれています。舞台の床は光沢のある黒色です。

舞台の右手前・左手前・中央奥には高さ 20 センチほどの台座が設置されています。

この作品は「裁判劇」ですので、台座は証言台のように見えるかも知れません。

そしてこの空間は法廷のように見えてきます。

また、この舞台上には点字ブロックが引かれているのも印象的です。長方形の舞台に目いっぱい田んぼの「田」の字を書いたように、灰色の点字ブロックがあります。

今、舞台上には 15 脚の椅子と 2 台の長机があります。どれも色は黒で、椅子は背もたれのない立方体のような形です。机もとてもシンプルな形です。

柵に沿って椅子が 11 脚、間隔を空けながら点在しています。2 台の長机は中央にハの字に並べられており、それぞれにイスが 2 脚設置されています。

この長机とイスは、置き位置や並べ方を変えて作中のシチュエーションを説明する小道具としても使用されます。机や椅子だけでなく、しゃべっている俳優以外の俳優達が、語られているシチュエーションを再現することもあります。例えば、冒頭に弁護人の長いセリフがあるのですが、弁護人の話す内容に合わせて、他の俳優も 9.11 でビルが倒壊する光景を演じたり、身体で旅客機を表現したり、舞台上に倒れたりしています。

そのような時は効果音が入りますので、長いセリフで効果音が聞こえてきたら、しゃべっている俳優以外の俳優も動いていると想像してみてください。

最後に、舞台奥、上部にはスクリーンが吊られています。しゃべっているセリフが字幕で表示される他、流れている効果音の説明も文字で投影されます。

【評決について】

本公演は 2 部構成となります。

観客の皆様には参審員として、第 1 部終了後に被告人が「有罪」か「無罪」の判断を投票していただきます。

その結果により、第 2 部にて被告人に判決が言い渡されます。

黒色コインが有罪票、赤色コインが無罪票となります。

第 1 部終了後に、投票箱を持ったスタッフがお席まで回収に参ります。投票箱へ、コインの投票をお願いします。